

放射線技術部だより

白十字病院 放射線技術部 広報誌



本号の記事：

- 安全の取り組み - 1-2ページ
- 新人技師紹介 - 3ページ

安全に造影CT 検査を受けて いただくために

白十字病院でのX線CTは一日に平均15件の造影剤を用いた検査を行っています。CT検査にて用いられるヨード造影剤は一般的に安全であり、多くの患者さんが副作用なしに検査を受けることができます。まれに起こる副作用とは、また副作用が起きた時に備えて私たちが行っている取り組みについてご紹介いたします。

造影剤副作用シミュレーション

副作用について

造影剤による副作用には吐き気、かゆみなど軽度な症状（約1%）から、呼吸困難、血圧の低下などでショック状態になる重度のアナフィラキシーショック（約0.04%）があります。



私たちの取り組み

造影CT検査は安全な検査ではありますが万が一のアナフィラキシーショックに備え、私たちは「造影剤副作用シミュレーション」と呼んでいる訓練を年に何回も行っていきます。シチュエーションを変え、色々な場面に対応できるように訓練を行っています。



最新版にアップデート

シミュレーション後の反省会を大事にしています。後日「動線の改善」「物品の位置の追加・変更」「行動記録用紙の改訂」など現場の意見を直ちに改善するようにしています。ですので患者の皆さんは安心して検査を受けられてください。

診療放射線技師2名での重篤なCT造影剤副作用発生時における行動チェックシート 2021年5月改訂

嘔吐、意識消失、血圧低下、喘息発作、痙攣、心停止など

↓

人を呼ぶ **連絡する** **動線の確保**

救急カートを手配 〇中島 18001
〇徳島 18002
〇福岡 18414
〇札幌 18220 18221
□ 主治医への連絡

機台を出す扉を開ける

バイタルチェック 症状の悪化

血圧 (:)	酸素吸入
脈 (:)	下肢挙上
SPO2 (:)	250生食のルート切り替え
	ハリーコール 18999
	ストレッチャーの準備

退出後

- 電子カルシに経過を記載する(造影剤、バイタル測定した時間等)
- 薬剤部へ事例について連絡する
- 患者基本情報にアレルギー、アレルギー、アレルギーに注意する